

留学生対象懸賞論文 FAQ

当財団へ照会のあった事項等を中心に FAQ を作成しました。

今後も、情報提供を行っていきます。

Q1 応募資格 2 に掲載されている、過去に財団が応募可能と判断した国・地域のリストに出身国が記載されていませんが応募は可能でしょうか？

A ご出身の国・地域がリストにない場合は、直接財団にお問い合わせください。
(FALIA 懸賞論文担当：essay@falia.jp)

ご出身の国・地域が、当財団が寄与できると判断した国・地域の場合は、応募可能です。

当財団は、教育・指導・助成等を通じて、世の中に正しい保険思想の啓発・普及を図ることを目指しています。同時に世界で保険事業の健全な発展にひろく寄与することを目的としています。このような趣旨から、応募可能な国・地域については、制限させていただくことがあります。

Q2 どのようなテーマで論文を書いていいのかわかりません。

A 当財団の懸賞論文事業の目的は、海外留学生の方に生命保険に対する興味をもっていただくことです。生命保険は社会課題の解決につながることも知ってもらいたいと同時に、様々な文化背景をもつ様々な専攻の海外留学生の方が懸賞論文という知的なチャレンジに取り組んでいただくことを望んでいます。論文は必ずしも保険の知識レベルや論文作成能力の高さを求めるものではありません。

当財団のホームページにて、受賞者等の報告の中で過去三年分の論文タイトルを公開しております。そちらをぜひご参考ください。

また論文執筆のヒントも併せてご参照ください。

Q3 論文を書く際に、FALIA 指定のテンプレートはありますか？

A 応募論文は、下記の構成で作成してください。応募論文の構成例をご参照ください。

- 1 ページ目：論文タイトル、応募者氏名、在籍している日本の大学名、総文字数または総単語数を必ず記載してください。
- 2 ページ目：論文サマリーを書いてください。

2 ページ目以降：応募者氏名など、応募者を特定できるような情報を記載しないでください。

また、「APA 方式」等の代表的なフォーマットを参考にするとよいでしょう。
論文を提出する前には、日本語で論文を書く場合には日本語を母国語とする人に、英語で論文を書く場合には英語を母国語とする人に、「校正、校閲」してもらうことをお勧めします。その場合、その方を応募フォームのアドバイザー欄に記載下さい。

Q4 論文はどのような体裁で書けばよろしいでしょうか？

A FALIA 懸賞論文では、以下の体裁での論文の提出を推奨しております。

英文 ダブルスペース、フォントサイズ 12

和文 フォントサイズ 10.5、1 ページ当たり 40 文字×36 行

Q5 表紙、目次、参考文献は字数としてカウントされますか？

論文に図表やグラフを挿入する場合は字数としてカウントされますか？

上限文字数、または上限単語数を超えた場合、応募は受け付けられますか？

A 表紙、目次、参考文献は字数としてカウントされません。

図表やグラフは字数としてカウントされません。ただし、論文の展開はあくまでも文章を中心とし、図表やグラフは補足的な役割としてご使用下さい。

応募論文は、日本語の場合上限文字数 12,000 字、英語の場合上限単語数 5,000 語とします。

※応募論文 1 ページ目に総文字数または総単語数を必ず記載してください。

Q6 参考文献や引用はその旨を記載しなければいけませんか？

A はい、参考文献や引用は必ず明記して下さい。

公刊された論文や書籍ばかりでなくインターネット上の情報も同様です。当財団では、ご応募いただいた論文はすべて、剽窃チェックソフトにて確認させていただきます。（剽窃等不適切事項発覚の際は、入賞後であっても、賞の取り消しと賞金の返還を求めることがあります。）

参考文献や引用の表記方法がわからない場合は、「APA 方式」等の代表的なスタイルを参考にするとよいでしょう。

Q7 グループでの応募は可能でしょうか？

A グループでの応募は可能です。ただし、その場合はグループ全員が応募条件を満たし、期日までに全員が応募フォームから応募する必要がありますのでご注意下さい。

Q8 応募フォームに、論文執筆時の指導教授やアドバイザーの有無を記入するのはなぜですか？

- A** 入賞された場合には、表彰式へ入賞者ご本人に加え、入賞者の大学関係者を原則1名ご招待させて頂いております。よって、応募フォームの当該項目に記載のある場合にはその方をご招待、記載のない場合には原則としてゼミ等の指導教授の方、留学生窓口教職員等の学校関係者をご招待させていただくこととなります。

表彰式に出席するために必要となる日本国内交通費（航空機・新幹線・電車等）は、弊財団で負担いたします。

Q9 表彰式への出席は必須条件でしょうか？

- A** はい、入賞者は必ず表彰式（2023年1月中旬予定）へ出席する必要があります。なお、表彰式に出席できない方は入賞対象とはなりません。

Q10 入賞した場合、どのような手続きが必要になりますか？

- A** 応募締め切り後の選考を経て入賞候補となった場合には、応募資格確認のため、以下の書類の提出が必要となります。（入賞候補者には11月～12月頃に当財団より直接連絡いたします。）

- ・大学の在学証明書原本
- ・在留カードの両面コピー
- ・二重投稿でない誓約書 など

